



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社パピレス
 コード番号 3641 URL <https://papy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 松井康子
 (氏名) 須永喜和
 TEL 03-6272-9533

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,249	10.0	472	34.4	551	31.6	306	37.6
2022年3月期第3四半期	15,826	12.8	720	64.5	806	59.8	490	63.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 352百万円 (29.6%) 2022年3月期第3四半期 500百万円 (62.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	33.40	33.28
2022年3月期第3四半期	50.41	50.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,829	9,140	65.5
2022年3月期	13,830	8,771	62.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 9,064百万円 2022年3月期 8,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,870	5.7	824	13.9	843	30.2	483	35.6	52.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	10,326,880 株	2022年3月期	10,326,880 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,142,917 株	2022年3月期	1,182,894 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	9,164,048 株	2022年3月期3Q	9,726,062 株

(注)「期末自己株式数」には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2023年3月期3Q 150,000株、2022年3月期 190,000株)が含まれています。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数(2023年3月期3Q 169,928株、2022年3月期3Q 209,927株)に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、当社グループの事業は電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため報告セグメントはありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められるものの、長期的な経済活動の抑制の影響や、戦争の長期化による世界的な物価高騰（インフレ）の影響を受けています。さらに、世界的な金融引締め等が続く中、景気の下振れリスクが存在しています。

電子書籍の市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2022」によると、2021年度は5,510億円（うち電子書籍市場規模は5,257億円、電子雑誌市場規模は253億円）と推計されていますが、参入企業も多く、厳しい競争が続いており、コンテンツ需要の増加による、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コストが上昇しています。

さらに、直近では、個人情報保護法の改正に伴うターゲティング広告の規制強化によって広告効率が低下し、ユーザーの消費行動への下押し圧力が依然として高まっていることによって、販促効率も低下し、売上高は減少する厳しい状況となりました。

このような環境の中で、当社グループは、顧客第一主義の基本理念に基づく、サービスの向上施策及び他社との差別化を図るためのブランド戦略施策を実施しました。

サービス向上施策については、レンタル販売方式の拡充を進めました。

ブランド戦略施策については、中長期的な事業拡大を目的とした広告宣伝を、先行投資として積極的に実施しています。

また、ユーザーへの還元を目的とした販売促進施策も積極的に行いました。

さらに、将来市場が拡大すると予測される英語圏や中国語圏を中心とした海外事業への投資強化、及び次世代コンテンツの開発並びにオリジナルコンテンツの増産にも取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は14,249百万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益は472百万円（前年同四半期比34.4%減）、経常利益は551百万円（前年同四半期比31.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

以下、当第3四半期連結累計期間における主な活動状況を報告します。

(集客施策)

「Renta!」の会員数800万人突破を記念して、割引やポイント還元などが適用されるクーポンの配布、及び人気作品がお得に読めるRenta!限定レンタルキャンペーンを実施しました。

また、草薨剛さんと神木隆之介さん共演の新TVCM「Renta! レンタルチェック」篇の放映及びRenta!提供のミニ番組「マンガ、鬼ほど好きなんで」の放送を開始しました。

さらに、オリジナルアニメーションコミック「アニコミ」のYouTubeチャンネルを開設しました。

(サイト改良施策)

割引やポイント還元などが適用されるクーポンサービス機能をリリースしました。

(オリジナルコンテンツ施策)

「Rentaコミックス」のオリジナルマンガレーベル「COMICスピア」よりリリースする作品について、「小説家になろう」と共同で、「コミカライズ原作大賞 第2回」コンテスト及び「ムーンライトノベルズ」と共同で、「オトナ女子コミカライズ原作大賞」コンテストを実施しています。

また、オリジナルフルカラー縦スクロールコミック『魔寄せ宮女、孤高の祓魔師に拾われました』の独占先行配信を開始しました。

(次世代コンテンツ開発施策)

縦スクロール型のコミック「タテコミ」の拡充及びマンガにモーションと音声を付加し、スマートフォンでの視聴に最適のタテ型アニメーション形式の動画コンテンツ「アニコミ」の制作体制の強化を進めています。

また、3DCGゲームをタテコミ形式にコミカライズした新コンテンツ「Gamtoon」の配信を開始しました。

(海外展開施策)

海外の直営販売サイトの「英語版Renta!」、「中国語繁体字版Renta!」の売上拡大を目指して、集客、サイト改良、コンテンツの拡充を進めています。

また、海外取次会社AAG（アルド・エージェンシー・グローバル株式会社）を通して、英語、中国語及び韓国語のコンテンツ取次販売を行っています。直営以外の62の海外販売サイトにも展開し、販路拡大が進んでいます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は13,829百万円（前連結会計年度末比0.0%減）となりました。

流動資産は12,838百万円（前連結会計年度末比0.1%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金が10,854百万円、売掛金が1,720百万円です。

固定資産は991百万円（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。主な内訳は、投資その他の資産が952百万円です。なお、重要な設備の新設及び除却はありません。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,689百万円（前連結会計年度末比7.3%減）となりました。

流動負債は4,687百万円（前連結会計年度末比7.3%減）となりました。主な内訳は、買掛金が2,339百万円、前受金が1,470百万円です。

固定負債は2百万円（前連結会計年度末比50.8%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,140百万円（前連結会計年度末比4.2%増）となりました。主な内訳は、資本金が414百万円、資本剰余金が885百万円、利益剰余金が9,386百万円です。

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は65.5%（前連結会計年度末62.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,778	10,854
売掛金	1,880	1,720
コンテンツ資産	17	39
その他	176	228
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	12,846	12,838
固定資産		
有形固定資産	40	39
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産	944	952
固定資産合計	984	991
資産合計	13,830	13,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,549	2,339
未払金	757	668
未払法人税等	97	0
前受金	1,402	1,470
賞与引当金	116	56
株式報酬引当金	77	51
その他	57	100
流動負債合計	5,057	4,687
固定負債		
その他	1	2
固定負債合計	1	2
負債合計	5,058	4,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	414	414
資本剰余金	885	885
利益剰余金	9,173	9,386
自己株式	△1,795	△1,692
株主資本合計	8,677	8,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	5
為替換算調整勘定	23	65
その他の包括利益累計額合計	26	70
新株予約権	28	34
非支配株主持分	39	41
純資産合計	8,771	9,140
負債純資産合計	13,830	13,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	15,826	14,249
売上原価	8,057	7,513
売上総利益	7,769	6,736
販売費及び一般管理費	7,048	6,263
営業利益	720	472
営業外収益		
受取利息	2	10
退会者未使用課金収益	2	2
投資事業組合運用益	5	—
為替差益	72	66
その他	3	1
営業外収益合計	87	81
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	2
その他	1	0
営業外費用合計	1	3
経常利益	806	551
税金等調整前四半期純利益	806	551
法人税、住民税及び事業税	297	228
法人税等調整額	16	15
法人税等合計	314	243
四半期純利益	491	307
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	490	306

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	491	307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
為替換算調整勘定	8	41
その他の包括利益合計	8	44
四半期包括利益	500	352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	498	350
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。